

第1回 社会人としての基本ルール5ヶ条

① うそをつかない。

苦しいことや言いたくないことこそ、正直に話しましょう。

特に言いたくないことは、できるだけ早く上司に相談しましょう。

うそをつくことは更に自分を苦しい立場に追い込んでいきます。

正直に話して怒る人はいません。

怒られるのはうそをつくという行為に対してです。

うそをつき始めると、そのうそをごまかすために、さらにうそをつかないと行けなくなります。うその連鎖が始まると研究室での生活はだんだん苦しくなります。

また、周りからうそをつく人だと思われるようになると信頼されなくなります。大事な仕事から外されたり、実験データの信頼性まで疑われるようになります。

このような状況は、自らが生み出したものだと理解できずに、不満を漏らすようになると更に状況は悪化します。

このような負の連鎖を引き起こさないためにも、どのような大きな失敗をしても常に正直に話して問題を解決する習慣をつけましょう。

② 時間を厳守する。

遺伝子実験施設では、朝9時に研究室に来ることがルールになっています。体調が悪かったり、用事があるときは、できるだけ事前に電話で研究室の人に連絡してください。メールは連絡手段として社会的に認められていません。

電話がどうしてもつながらないなど特殊な事情の時に、その旨をメールに記載して連絡してください。

朝だけではなく、セミナーの時間や会議の時間を守ることも重要です。しかし、研究室では実験をしてデータを出すことが最も重要です。セミナーの時間が気になって実験できない人もいますが、それは本末転倒です。

もちろん、セミナーの時間までに仕事が終わるように計画するのは当然です。

が、計画通りに行かない時は、そのことを担当者に伝えれば問題ありません。何が大切なのか優先順位を考えることも必要です。時間を守ることは、とても重要な社会のルールです。絶対に忘れないで下さい。

③ きちんと挨拶する。

朝来たら、挨拶をしましょう。

黙って自分の机に座ることがないようにしてください。私に来ていたら、私の部屋に来て挨拶してください。みなさんが先に来ていれば私が挨拶にいきます。お互いに声をかけ、普段からコミュニケーションを取ることは仕事をする上でとても大切です。

試験は一人で受けたと思いますが、**仕事は一人では絶対にできません**。周りの人に声をかけ、協力してはじめて仕事が可能になります。仕事上でもめた次の日でも挨拶をすることで、気分も変わります。朝の挨拶は必ずしましょう。朝だけでなく、帰りも挨拶をして帰りましょう。誰も知らないうちにいなくなったら、心配します。帰るときは私に声をかけて下さい。私が帰るときもみなさんに声をかけて帰ります。

総合科学実験センターは共同利用施設です。色んな人が使いにきますので、施設を利用する人にも積極的に挨拶してください。

気持ちよく使っている人もいれば、不満を持っている人もいます。挨拶することで話しをするきっかけにもなります。色んな人とコミュニケーションを図ることで共同研究や実験上のアドバイスをもらえたり、問題点を指摘してくれる場合もあります。就職の情報ももらえることもあるでしょう。人とのつながりは挨拶から始まります。いままで声を出しにくかった人も思いきって挨拶してみましょう。**必ず人生が変わります**。

④ お世話になったらすぐにお礼を言う。

感謝の気持ちを持つことは、大切なことです。感謝することで相手も気持ち良くなりますし、もう一度お世話をしてあげようという気持ちになります。それも言葉に出してお礼を言うことが大切です。

言葉に出すことで相手に気持ちが伝わるだけではなく、自分自身の気持ちが再確認できます。

お互いが気持ち良く仕事をすることで、仕事は更に発展していきますし、お

互いが強い絆で結ばれます。

感謝の気持ちを持ってない人は、他の人と一緒に仕事をすることができません。自分一人ではできない仕事も一緒に働くことでできるようになります。

より大きな仕事をして行くためにも感謝の気持ちを忘れないようにしましょう。教員は教えるのが当たり前、学生が、実験するのが当たり前、そんな気持ちでは、未知の発見をするような研究はできません。研究できる立場にいることを感謝し、自分が今のプロジェクトにいかに関与できるか考えましょう。

⑤ 間違っただけをしたら勇気を持って謝る。

人間は誰でも間違いや失敗はあります。大切なのは失敗から何を学ぶかということです。研究は9割が失敗です。その失敗から学び、修正していくことで最終的な回答にたどり着きます。

失敗を認め、反省し修正できる人は必ず成功します。問題点を認めず、他の原因を探す人、責任を他人に転嫁する人は、成長できません。

素直な気持ちを持ちで反省できる人は、いずれ必ずうまく行きます。長い時間が必要な人もいるかも知れませんが、修正していくことを決して忘れないで下さい。学問に王道はありません。